

1. 目的

(仮称) 長久手市ふるさと館は、市民の貴重な財産である文化財を保存継承するとともに、無くなりつつある長久手の昔ながらの風習や文化、伝統芸能等を後世の子どもたちに繋いでいくことを目的とします。

2. 扱う展示項目

『古戦場公園再整備基本計画』では、8つの項目を掲げています。

- ①小牧・長久手の戦い、長久手合戦の展示
- ②関連する武将、城、地域(国)の情報展示・解説
- ③武具の展示
- ④長久手の祭事・行事・無形文化財の展示
- ⑤長久手の遺跡展示
- ⑥長久手の産業展示
- ⑦長久手の市史の展示
- ⑧長久手の地誌・自然史の展示
- ⑨ワートルロー市、ワートルローの戦いの展示

長久手古戦場記念館にて扱う項目

(仮称)長久手市ふるさと館にて扱う項目

長久手古戦場記念館にて扱う項目

ふるさと館の展示の中では、⑤～⑧は歴史展示として、④は民俗展示としてそれぞれ分類し、各ゾーンで展示を展開いたします。

3. ターゲット

メインターゲット ➡ 小学校3・4年生を中心とした子どもたち

サブターゲット ➡ 古戦場公園を利用する親子

4. 展示のコンセプト

ふるさとのおゆみを探索する
伝統を楽しむ、つなぐ

「歴史・民俗資料」=古い道具を見る施設、というイメージを払拭し、自分たちが暮らす長久手の歴史や、繋いできた文化の面白さや凄さなどを再発見し、新たな視点で長久手のまちを見ていただき、新たな発想やコミュニティが生まれるよう、後押しをしていきます。

■手法(案)

「もの」のみを見せるのではなく、その裏にある人々の考えや営みを映像や解説パネル、模型等で伝えていきます。また、儀礼や伝統芸能、生活文化は「見る」「真似てみる」=人と人とのコミュニケーションの中で伝えられてきたことを大切に、展示の中でも適所で「やってみる」体験の展示や、「コミュニケーションが生まれる」ような「考えてみよう」「話し合ってみよう」など問い掛けがあるパネル等を設置していきます。

来館者の動線

0.前庭
<体験>

2.“蔵”(展示室)

<情報・知識>
長久手の歴史、変遷、祭り

1.母屋(移築古民家)

<体感>
長久手の民俗・生活

【蔵】歴史・民俗展示室

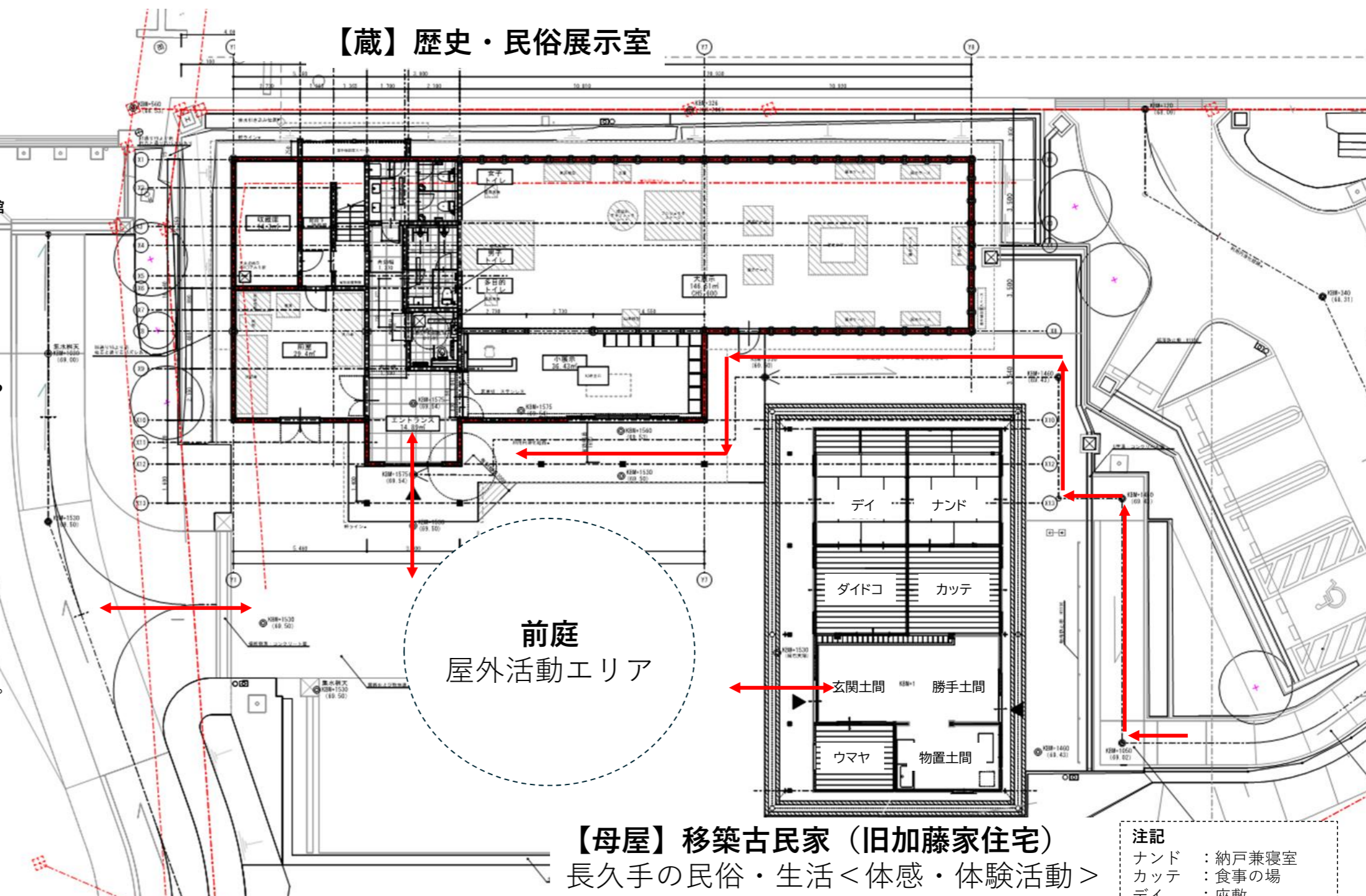
前庭
屋外活動エリア

【母屋】移築古民家(旧加藤家住宅)

長久手の民俗・生活<体感・体験活動>

注記

- ナンド : 納戸兼寝室
- カッテ : 食事の場
- デイ : 座敷
- ダイドコ : 居間
- ウマヤ : 馬小屋



5. 展示の流れ

古民家

古民家では、昔の生活(暮らし) ぶりを見せることとし(体感)、年中行事、二十四節気の飾りなどをを設置し、復元の様子をパネル展示します。
古民家内では、主に昔ながらの遊びや伝統的なものづくり等の活動を行います。

ふるさと館

1. 見る・知る：長久手の誇り「警固祭り」「棒の手」とは

長い間、伝えられてきたお祭りを、新旧住民が揃って楽しめるように、また一緒に行く楽しさの発端となるように、馬や山車などを実物大で展示し、迫力や雄大さに気づいてもらいます。
また、どんな風に継承されてきたかなど、祭りの背景や裏側にある思いなども伝えていきます。

2. 参加して楽しむ：いろいろな地域の「祭り」

映像では各地域のお祭りの様子見ていくとともに、一緒に型を演じてみたり、隣の人と合わせて見たりと、コミュニケーションを生み出す内容とします。自分たちの地域との違いなどにも気づいてもらおうきっかけにもします。

3. 興味を持つ：長久手の歴史の変化や変遷を伝える

長久手では、どのような人々が、どんな風に暮らしてきたかを、その時代を代表する遺跡や場所、仕事などに焦点を当て、紹介します。
5つの村が段階的に合併して長久手村となった経緯を展示し、興味を持ってもらいます。

4. もっと知る1：長久手の地勢・地誌の変化を伝える

祭りなど長久手の文化が生まれた背景(基盤)となる、長久手の地形や土地の成り立ちなどを紹介します。立地と文化、歴史が切ってもきれないものであることを知ってもらい、「長久手の変化」を伝えます。

5. もっと知る2：各地区の文化の特徴を伝える

3つの特徴的な地区ごとの文化を伝えます。来館者にとって、より身近な内容を伝え、生活の中でも「気づき」が生まれるきっかけにします。

6. 深める：古民家と前庭を眺める

長久手の歴史・民俗を知り、さらに古民家や前庭を眺めながら思いを深めてもらうほか、アーカイブ映像などで、自分の興味に応じた詳しい情報を知ることができるようにします。

①②民俗・祭りイメージ



写真・パネルやお祭りの道具や衣装など



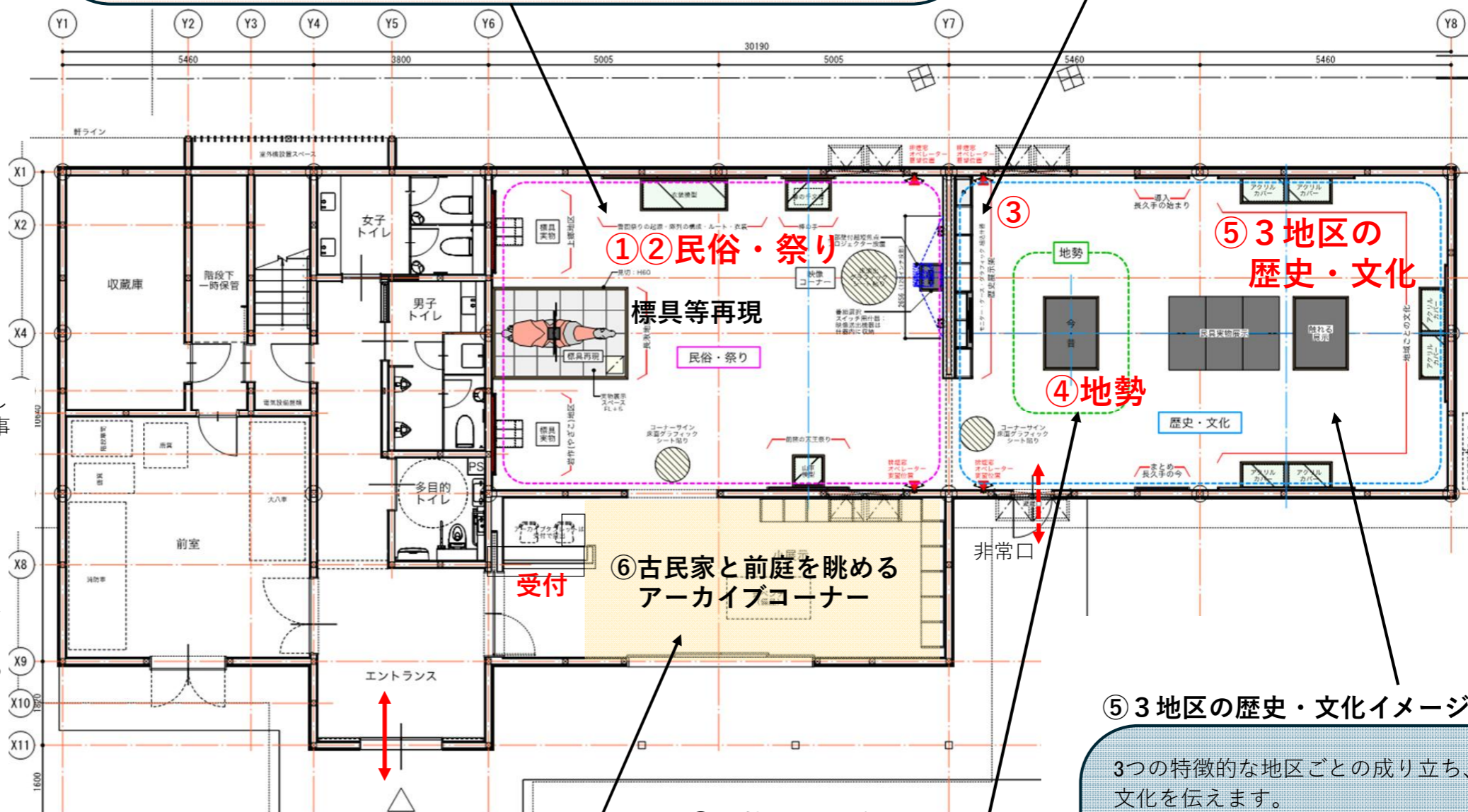
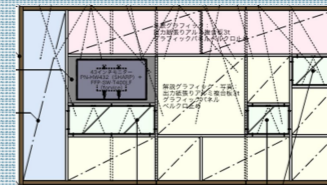
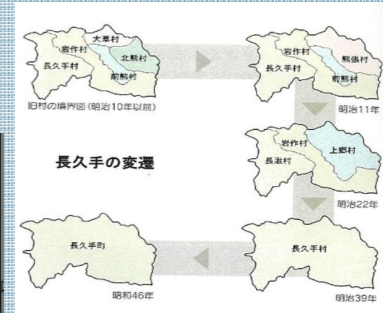
馬やダシの実物大模型を展示し、迫力や雄大さを伝えます。前熊の山車は縮尺模型を展示します。



棒の手展示

③長久手の歴史の変遷

様々な資料で構成し、通史や5つの村が段階的に合併して長久手村となった経緯を展示します。モニターやパネル、棚で構成します。



⑥アーカイブコーナーイメージ



牧野富太郎記念館

展示壁イメージ

④地勢イメージ

航空写真や地図を基に、長久手の地形や土地の成り立ちなどを紹介します。



⑤3地区の歴史・文化イメージ

3つの特徴的な地区ごとの成り立ち、文化を伝えます。中央には大型民具など、触れられる資料を展示し、3地区に共通する産業や文化を伝えます。

